

個別事業説明書【PR版】

総務部

1 県庁第二別館整備事業費

2,756,571

41			2	3
4				
26	?	=		0 R4
				0 R8
26-1	?	=		0 R4
				0 R8

089-912-2150

事業イメージ	KPI	7	R5.12
		100	R4 7

事業概要

整備の基本的な考え方（新庁舎の機能強化等）

DX

新庁舎の規模及び構造

	51.5m

スケジュール

	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	← 約1.7カ月間 →															
					← 約2.8カ月間 →											



1 新築工事外 **〇**千円

2 仮庁舎移転等経費 **〇**千円

3 事務経費 **〇**千円
CLT

総事業費 **約-**, 億円 → **約〇**億円
12

官民共創拠点のイメージ

(089-912-2190)

27 ()

KGI DX

27-1 DX

KGI

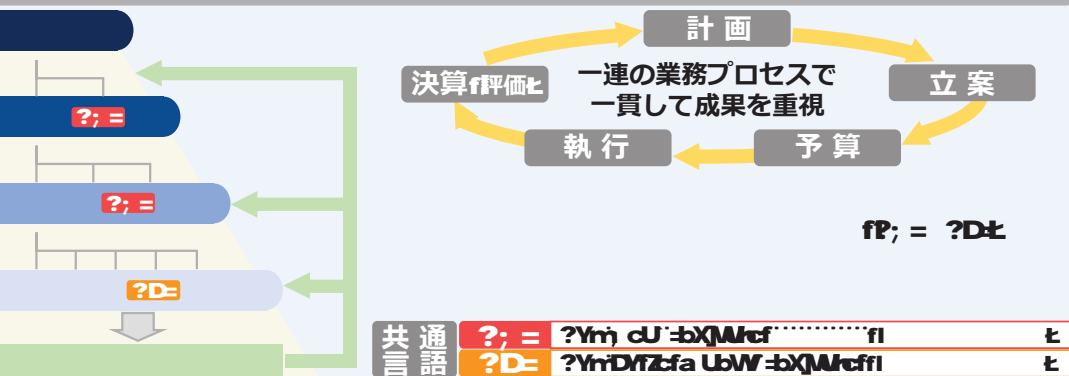
KPI

R5
100 R8

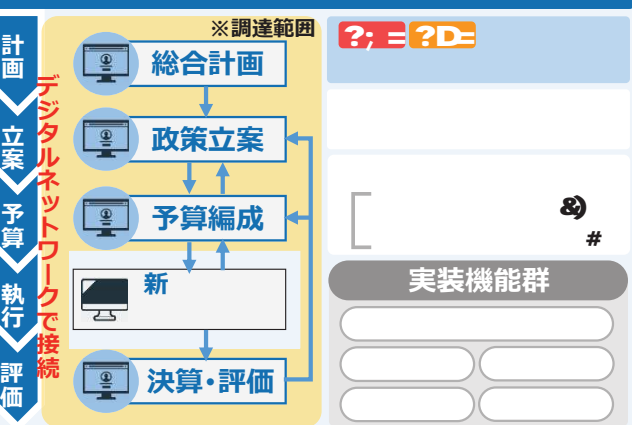
KPI

40 R5
100 R5 6

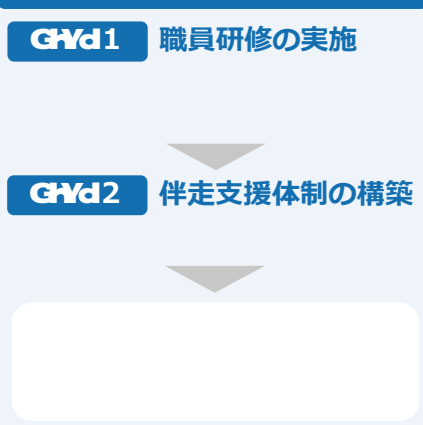
成果重視マネジメント全体コンセプト



基幹業務を総合的にマネジメントするシステムの構築



伴走支援体制等の整備



307,890

(1)

システム導入スケジュール	R4	R5	R6	R7
6DF 8L	[Yellow bar]			
		[Yellow bar]	[Blue bar]	[Blue bar]
		[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]

7,286

(1)

()

(2)

7,643

	R5	R6	計
新システムの開発等	+)*z\$(' \$+z, -\$	%z*(z-
成果重視マネジメント推進	% z *%	+z&, *	&z*(+
事業推進費)z)' -	+z' (% z% &
合計	++)z \$(' &z, %	%z, z/z

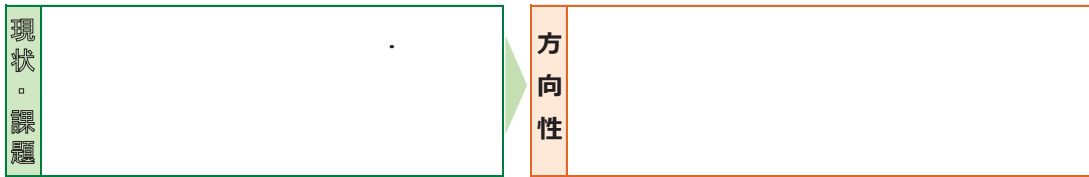
3 新建設事業総合管理システム構築事業費

)\$' z(\$-

\$, -!- %& &&&+

事業イメージ

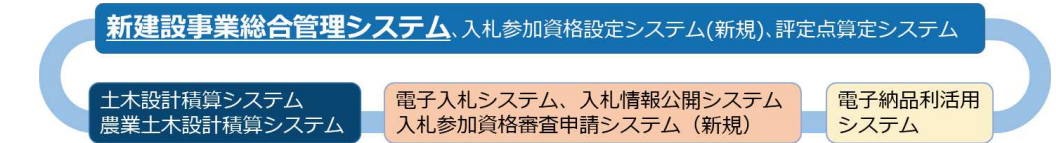
KPI



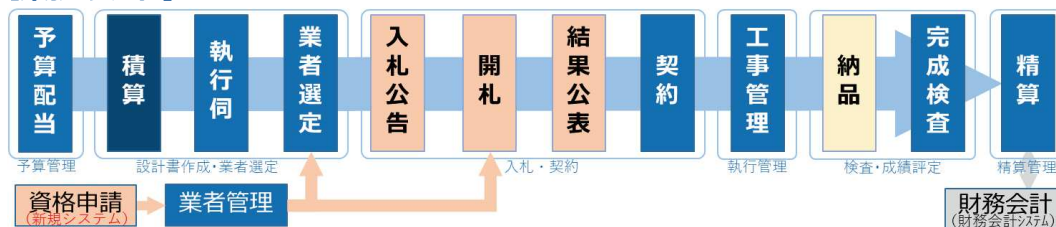
建設事業総合管理システムを核に、関連システム全体を再構築



【業務で使用するシステム】



【業務の流れ】



事業概要

- 1 部局横断体制の各種会議開催・進捗管理 763千円
- 2 プロジェクトマネジメント支援（コンサルタント委託） 9,994千円
- 3 新建設事業総合管理システム構築（開発事業者委託） 492,652千円

F) F* &

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度～
スケジュール	現行システム	[Blue arrow spanning R4 to R7]			
	新システム	現状分析・要件定義 基本設計	詳細設計・システム構築 データ移行・テスト	[Pink arrow spanning R6 to R7] 並行稼働	
事業費	新システム構築費(2か年)	0	299,071	473,054	R4～R6 事業費計
	関連システム改良費(単年)	0	12,100	19,598	
	その他経費	71,940	11,411	10,757	
	計	71,940	322,582	503,409	

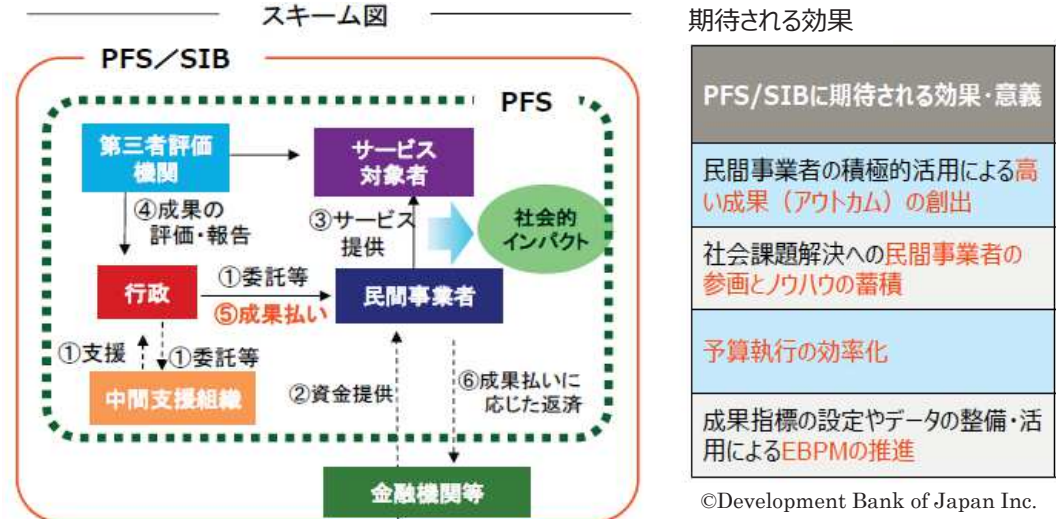
社会課題が複雑化する中、多様な行政ニーズに的確に対応し、県民の満足度を高めていくためには、官民連携の更なる推進と成果重視の行政運営の追求が重要となることから、成果連動型民間委託方式（PFS/SIB）の導入に向けた実践的なセミナーや民間事業者との情報交換・官民対話を含む個別相談会を開催し、案件形成を支援する。

お問い合わせ先
 総務部行財政改革局
 行革分権課
 (089-912-2238)

指標	施策	28 県民の暮らしを支える行財政改革 KGI 行政改革大綱における目標設定項目の達成率	現状値 68% (R3年度) 目標値 100% (R8年度)
	細施策	28-4 連携の推進 KGI 他自治体との連携施策数	現状値 37施策 (R4年度) 目標値 42施策 (R8年度)

KPI	PFS導入案件数 (2件/年 増)	現状値 2件 (R5年度見込) 目標値 6件 (R5~7年度累計)
-----	----------------------	--------------------------------------

PFS (Pay-For-Success) /SIB (Social-Impact-Bond) とは



令和5年度モデル事業実施内容

優れた技術や素材を有する県内企業と県外の異業種企業とのマッチングを行うことで、新商品や新たなサービスを開発し、更なる販路拡大と実需の創出を図る。

スマートヘルスケア推進事業（健康アプリの活用による健康寿命の増進、医療費適正化を図る事業）の県民全体への展開を検討するに当たり、アプリの利用が健康や医療費に与える影響を確認し、適切な成果指標の設定を検証する。

4,420

PFS/SIBの導入に向けた実践的なセミナー及び具体的な相談会を開催する。

【対象者】県・市町・PFS/SIBに関心のある民間事業者 など

【回数】2回

- ◇ 1回目（実践セミナー）6月頃
他自治体の先行事例をモデルとした成果指標の設定、評価検証の実践方法
- ◇ 2回目（個別相談会）8月頃
導入に向けた具体的な相談、サウンディングなどの官民対話

※案件形成に向け、随時質疑を受付

【委託先】民間コンサルティング会社（想定）

17,516

セミナー等を通じて掘り起こした案件の中から7年度の本格実施を目指す事業を選定し、適切な成果指標の検証や事業の実施体制を構築するため、モデル事業を実施する。

【実施件数】2件程度（8,500千円×2件）

【実施時期】令和6年度夏頃から ※選定事業の所管課へ事業費を移用

【先進地視察】モデル事業等の創出に向け、類似事例の調査を行う。

	KGI		
	KGI		

2024年

KPI

連携推進本部

- 連携施策創出
- 重要施策の意見交換

国への政策提言

- 重要要望
- 地方分権提案

市町の運営支援

- 支援担当職員制度
- 電子掲示板運用

行政改革の推進

- 行革甲子園
- 先進事例研究会

☆新ステージ (R5～) の取組み

連携創出作業部会

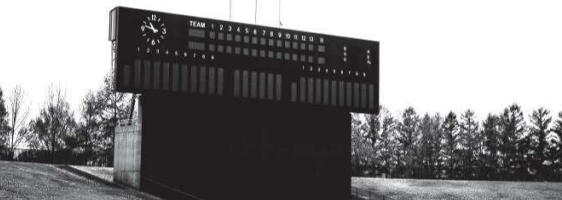
共通の課題を有し、前向きに課題解決に取り組もうとする市町等と共同で、連携施策の創出を促進

☆R6年度は行革甲子園2024を開催!

※通算7回目 (全国版は5回目)

- 1 先進事例発表
全国から応募のあった案件から厳選
- 2 特別企画
海外の先進事例の講演

大会当日はライブ中継・参加者アンケート投票を実施!



優良事例の波及により、県全体の行政力の更なる向上へ

F

会議名	構成者
本部会議	知事・市長
幹事会	各市町の連携担当課長・市町振興課長
チーム会	庁内関係部局主幹級職員
ワーキンググループ	県・各市町の課長級職員 (本部長が指名)
連携創出作業部会	各市町関係部局職員・庁内関係部局職員・市町振興課職員等

2024年

2024年

6 私立学校運営費補助金

3,721,307

089-912-2221

10	KGI	70.3%	R4
		71.0	R8
10-1	KGI	1.9%	R4
		1.2%	R8

事業イメージ

KPI

100	91.4%	R4
	100	R8

事業概要

- 一般補助 3,677,889千円 (国費 547,550千円)
 - 補助対象者 16
 - 補助対象経費
 - 補助単価

358,148	53,745
350,057	53,222
- 特別補助(デジタル教育推進割)[追加] 39,000千円 (国費 5,850千円)
 - 補助対象者 13
 - 補助対象経費
 - 補助上限額

3,000	DX 13
-------	-------
- 授業目的公衆送信補償金 4,418千円 (国費 2,206千円)
 - 補助単価

462	792	198
-----	-----	-----
- 補助金所要額 3,721,307千円 (国費 555,606千円)

私立学校運営費補助金 =

358,148	+4,121	〇	8,763	+61
350,057	+3,956	〇	1,541	+ 6

追加

3,000

予算額推移

	R2	R3	R4	R5	R6
	3,504,442	3,550,010	3,643,036	3,616,396	3,677,889
単価 (高)					
(中)					
生徒数 (高)					
(中)					
	\$	\$	\$	\$	' - \$\$\$
	<u>3,504,442</u>	<u>3,550,010</u>	<u>3,643,036</u>	<u>3,616,396</u>	<u>3,716,889</u>